

女性ファッション雑誌に見る「抜け感」の意味・用法について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 具, 軟和 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1026

女性ファッション雑誌に見る「抜け感」の意味・用法について

具 軟 和

1. はじめに

1.1. 本論の目的

本稿では、最近のファッション雑誌やインターネットのファッションサイト、テレビなどでよく目にする「抜け感」ということばについて調べる。

ファッション用語として頻繁に使われる「抜け感」ということばは、もはや今はファッションに限らず、女性のメイクやヘアスタイルにまでその表現が広がっている。本稿では、特に女性のファッション雑誌に注目し、「抜け感」の使用例を観察する。そして、このことばがどのような意味合いで用いられているのか調査・考察する。

女性雑誌には「～感」という表現が多数使われている。そのいくつかの用例を挙げてみよう。

- (1) 存在感ある小物で味付けをするとより魅力が際立ちます
- (2) 清涼感があるリネン素材がポイントのパンツ
- (3) フィット感抜群で欠かせない一品
- (4) 高級感漂う手の込んだ刺繍トップス
- (5) 夏のブラックスタイルは抜け感ある色気がマスト

このように、「～感」は様々なことばに接続している。ところが、(1)から(4)の用例はその意味がすぐ読み取れるが、(5)の用例はどのような意味合いで使われているのかわかりづらくほかの用例と違って写真がなければその意味が伝わらない。

動詞「抜ける」の本来の意味は¹⁾、a) 中にはまっていたものや、付いていたものが離れて取れる。「歯が抜ける」、「栓が抜ける」、「髪の毛が抜ける」。b) 中に満ちていたり含まれたりしていたものが外へ出る。「タイヤの空気が抜ける」、「臭みが抜ける」。c) 押している状態のまま、押す力が消える。「ブレーキが抜けて空走する」。d) 本来あるべきもの、必要なものが漏れたり欠けたりしている。「名簿から名前が抜ける」、「主語が抜けている」など、文章の中でマイナス評価の意味を持つことが多い。ところが、ファッション雑誌に表れている「抜け感」の使用を見るとその意味はプラスの評価を持つ。

本稿では、この「抜け感」という感覚の明確な意味を探るべく、使用例を詳細に観察・分析することとする。

1.2. 先行研究

雑誌を分析対象とする研究は数多くなされている。80年代末より、ジェンダーの視点から雑誌の表象研究が行われており、井上輝子・女性雑誌研究会(1989)、井上(1995)、諸

橋（1993）などは、様々なジャンルの女性雑誌の計量的内容分析を行った。そして、文体論の研究には、中里（2010）によるファッション雑誌の男女の文体差に関する研究や辻（2013）の雑誌に描かれた男らしさの変容についての分析などがある。他に、雑誌に掲載されている写真、イラスト、マンガなどの男女の視覚的イメージを分析している深澤（2005）の研究も興味深い。しかし、雑誌の語彙に注目した研究は主に外来語の研究が多く、他には赫（2016）のオノマトベを比較した調査研究などがある。本稿では、ファッションのことばとして抜け感ということばが持つ具体的な意味を考察する。そして、いつからファッション雑誌に登場したのか、ついでに男性雑誌での使用も調べる。

1.3. 調査資料

雑誌の文を調べるといっても、その対象は様々である。例えば、記事の他にも小説、マンガ、論説、表紙絵、広告、読者投稿、目次などもあるが、今回取り上げるのは雑誌の記事のみを対象にする。資料とした集めた女性のファッション雑誌は次の表1の通りである。雑誌選択の基準は特に設けておらず、発売ランキング30位以内のもので入手可能な20代から40代までのものを選んだ。

表1 資料とした女性雑誌（※五十音順）

	雑誌名	発行年月日	読者の年齢代	発行会社
1	ヴィヴィ (ViVi)	2018年10月号	20代前後	講談社
2	オトナのミューズ (MUSE)	2018年6月号	20代～40代	宝島社
3	クラッシー (CLASSY)	2018年7月号	20代～30代	光文社
4	シュプール (SPUR)	2018年3月号	20代～30代	集英社
5	ジェイジェイ (JJ)	2018年9月号	20代前後～20代後半	光文社
6	スウィート (Sweet)	2018年7月号	20代後半	宝島社
7	ストーリー (STORY)	2018年4月号	40代	光文社
8	ドマーニ (Domani)	2018年10月号	30代～40代	小学館
9	ノンノ (non・no)	2018年10月号	20代前後	集英社
10	リンネル (Linier)	2018年7月号	20代～30代	宝島社

2. 女性のファッション雑誌における使用状況

2.1. 「抜け感」の使用例

まず、現在女性雑誌で使われている「抜け感」の様々な使用例²⁾を見てみよう。

- 1) 足元にはサンダルを合わせて抜け感を出したい (ミューズ)
- 2) ガーリーだけど、デコルテの抜け感で大人っぽさもあり。 (ドマーニ)

- 3) 上まぶたは大粒ラメで思いっきり抜け感を。下まぶたはきつく見えないよう、黒以外のダークカラーで締めておしゃ顔に。(ノンノ)
- 4) オールドスクールなアイテムは、カジュアルダウンして抜け感のある着こなしに。(ジェイジェイ)
- 5) ワイドパンツは、ゆったりはけてきれいめに見えるものを探して、古着で購入。ユニテッドバンブーの白シャツは絶妙な抜け感が出ます。(リンネル)
- 6) ベルベットのフラットサンダルは、レザーにはない抜け感や、レディライクなムードが絶妙! 黒のレースアップが足元を引き締める。(シュプール)

上の 1) は、きちんとした服装だが足元にはサンダルを合わせて、少しゆるい雰囲気を出しながらしなやかなイメージを与えるような説明であり、きちんと感を崩すという意味で使われていると考える。2) は、首元の肌を隠すのではなく肩まで出すことによって女性らしさをアピールする、大人の女性のイメージを加える意味として使われている。3) は、メイクの場合だが、マットな仕上がりの平面的な化粧ではなく、立体感があるような化粧を示している。逆にマットで平面的なメイクは化粧が濃いような印象を与えやすいと捉えていることがほかの例文に表れているためこのような解釈ができると考える。即ち、艶を出す立体感があるメイクをすることによって透明感が増し、ナチュラルなイメージに見られることを意味している。4) は、学生服の要素が入ったカジュアルな服装をよりカジュアルに着こなすという意味である。ファッション用語辞典に「ドレスダウン」ということばがあるが、これは文字通りにフォーマルな服装を崩してカジュアルに着こなすことをいう。しかし、「カジュアルダウン」³⁾ はカジュアルをよりカジュアルに着こなすことを意味するのでその解釈が異なることに注意したい。引き続き 5) だが、白色のゆったりしたシャツが与えるすっきりした印象を抜け感があると表現している。6) はベルベット素材をのシューズにレースデザインが加わった変わったサンダルを説明している。足元が地味にならず、アクセントが加わることを抜け感があると表している。

今回の資料である 10 冊の雑誌から得られた「抜け感」の使用例はすべて 74 個である。各雑誌の使用回数を次の表 2 にまとめる。

表 2 女性ファッション雑誌に表れた「抜け感」の使用回数

雑誌名	ViVi	オナMUSE	CLASSY	SPUR	JJ	Sweet	STORY	Domani	non・no	Liniere
回数	5	12	5	4	11	9	13	3	10	2
合計	74 個									

2.2. 分類・分析

抜け感とは、「主にファッションや化粧、きっちりしている中にナチュラルさや雰囲気の柔らかさなどが滲むようなスタイルを意味する言葉。意味に厳密な定義はなく、広く人の見た目に関して使われる言葉である」という⁴⁾。

このようなざっくりとしたニュアンスが具体的にどんなものを示し、どのように使用されているのかは分かりづらい。その為、まず今回集めた使用例から抜け感がファッションのどのような要素を持って働くのか、写真のイメージを参照しながら調査・分類してみた。その内容を次の表3にまとめる。

表3 「抜け感」の要素と効果

	主な抜け感の要素
(ア) アクセントの効果	差し色（白）、柄物、和風に対し洋風なものを取り入れる、特徴があるデザイン、アクセサリ
(イ) カジュアルの効果	学生ファッション、スポーティーな服装・小物
(ウ) 崩し・外しの効果	肌を見せる、アンバランス的な要素（メンズアイテム、抜き襟、シャツを前だけインするなど）
(エ) ナチュラルの効果	軽い雰囲気、ゆったりしたライン、きっちりしない、飾り過ぎない、ベージュ色、透明感、艶感

このように収集したデータの表現を観察した結果、4つの効果を狙って使用されていると判断した。そして、その抜け感の効果のために用いられる各要素も写真と写真に付いているキャプションのことばで推理することができた。

抜け感は、ことばのみで使用されることは稀でほとんどが写真のキャプション文に表れている。つまり写真がなければ理解できないケースもある。では、以下に（ア）から（エ）の各効果を表した使用例を挙げる。

- (ア) アクセサリーは少し大ぶりなものを選ぶことで、コーディネートのポイントに。存在感はあるのにゴージャスになり過ぎず、抜け感を与えてくれるので重宝しています。
(スウィート7月号)

ファッションの一部に大きめのアクセサリでアクセントを与えることにより、抜け感が生まれると解釈できる。このような使用をアクセントの効果として判断した。

- (イ) オールドスクールな薫りのするアイテムは全身をそれで固めずカジュアルベースで取り入れるくらいがちょうどいい、どこかに茶目っ気をプラスして抜け感を出すと今っぽい。
(ジェイジェイ9月号)

学生ファッションの要素と考えられるスニーカーやロゴTシャツのようなものを取り入れ抜け感を演出するような場合はカジュアルの効果として判断した。

- (ウ) 大人だからといって、肌を隠すばかりじゃもったいない！だって肌を出すことで、着こなしにヌケ感が出るし、手っ取り早く女っぽく見えるんですから。
(オトナのミューズ6月号)

服装の一部に肌を見せることによって抜け感が出ると表現している、このような使用を崩し・外しの効果として分類した。

(エ) オレンジブラウンのリップ使いは、ナチュラル感がさらっと纏えて、～きっちり過ぎない指塗りで。こればっちり抜け感につながります。(ストーリーィ4月号)

これはメイクの仕方の説明だが、赤色のリップよりブラウン系の方が抜け感があり、ナチュラルなメイクが表現できるという解釈をしている。このようなナチュラルの効果を強調する使用例は主にメイクの説明に多く表れている。ほかにも黒よりブラウンのアイラインの使用やマットなアイシャドウよりラメが入った立体感があるメイクが抜け感があると語っている。

引き続き、4つに分類した抜け感の効果がどの程度の割合で表れたかを見ると、次の表4の通りである。

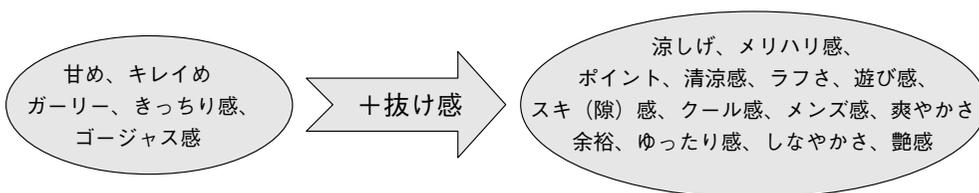
表4 抜け感の各要素別出現回数

(ア) アクセントの効果	(イ) カジュアルの効果	(ウ) 崩し・外しの効果	(エ) ナチュラルの効果
13 (17.6%)	8 (10.8%)	24 (32.4%)	29 (39.2%)
合計 74回 (100%)			

表4から見られるように(エ)のナチュラルな効果を強調するような表現が最も多かった。すべて29回表れたが、そのなかの18回はメイクの仕方を説明する内容に偏っており、抜け感が化粧の分野ではナチュラルさを強調する表現として定着していると思われる。次に多かったのは(ウ)の崩しの効果だったが、ファッション雑誌のなかの化粧に関する記事を除けば最も多い使用例はこの崩し・外しの効果を狙った意味合いである。

使用例を見る限りでは、ファッションにおいてある要素を足すことで生まれる感覚であって、決して手を抜くことではないと考えられる。例えば、甘めの雰囲気ファッションにやや大人めのファッションアイテムを加えたり、キレイめなファッションに少しラフさを加えたりするような感じを抜け感と描写しているのである。抜け感によって生まれる雰囲気を整理すると、次の図1のようにまとめることができる。

図1 ファッション雑誌における「抜け感」の用途



一般的に抜け感があるということを、主に首、手首、足首を少し出すことと理解する者が多いらしいが、今回の調べではほかの使用例が多数見られた。

表3に挙げたような白色、小物のアイテム、着崩しなど、何らかの要素を取り入れることによって、図1に示したような抜け感が生まれると考える。本来の「抜く」という文字の意味に反して、抜け感は何かを抜くのではなく、何かを足すことと言えらるだろう。しかし、最近はその意味が拡大し、いわゆる「垢抜けた感じ」、「余裕がある大人の雰囲気」を醸し出すかっこいい女性へと導くファッションの潮流を表すことばになっている。

3. 男性のファッション雑誌における使用状況

3.1. 「抜け感」の使用例

今回調査の対象にした雑誌は全部5冊であり、そのなかに表れた「抜け感」はすべて合わせると24個である。資料にした男性雑誌と雑誌に出現した抜け感の使用回数をそれぞれ表5と表6にまとめる。

表5 資料とした男性雑誌（※五十音順）

	雑誌名	発行年月日	読者年齢	発行会社
1	ウオモ (UOMO)	2018年10月号	30代～40代	集英社
2	ジーキュウジャパン (GQJAPAN)	2018年10月号	30代～50代	コンデナストジャパン
3	メンズクラブ (Men's club)	2018年10月号	30代～40代	ハースト婦人画報社
4	メンズファッジ (Men's FUDGE)	2018年10月号	20代	三栄書房
5	レオン (LEON)	2018年10月号	40代～50代	主婦と生活社

表6 男性ファッション雑誌に表れた「抜け感」の使用回数

雑誌名	UOMO	GQJAPAN	Men's club	Men's FUDGE	LEON
回数	5	3	6	5	5
合計	24回				

男性のファッション雑誌に表れたその使用例を挙げてみよう。

- (1) 秋口らしくコーデウロパンツの裾をロールアップして、白いソックスで息抜き。
この抜け感を左右するバランスも実は重要。 (メンズ・ファッジ)
- (2) マスタードにはデニムのブルーがよく合う。ホワイトのインナーで抜け感を。
(UOMO)
- (3) 40歳になって、ようやく挑戦できるようになったオーバーオール。いい大人がこれくらいかわいげのあるものを着ると、程よい抜け感が生まれるんです。 (LEON)

3.2. 分類・分析

(1) は、着崩しの効果を狙った演出であり、(2) は白色を取り入れることによるアクセントの効果で抜け感を表現している。(3) は、オーバーオールという若者向けのファッションをマッチすることによって生まれるカジュアル感の効果を狙った説明である。使用例からみると、女性雑誌とその使い方は全く同様である。但し、出現回数は女性雑誌（10冊中74回）に比べ、男性誌（5冊中24回、※女性誌の約6割の使用率）はそれほど多くないことが分かった。一般的に雑誌は売値によってページ数が異なるため、一冊の枚数には差が生じる⁵⁾。10代や20代の向けの若者雑誌は大人向けに比べやや値段も安く、総項数も少ない。そのため、記事の内容も少ないと思われがちだが、各雑誌によってその内容や構成に特徴があり、必ずしも総ページ数が多いとファッションの記事も多く「抜け感」ということばの使用も多くなるとは言い難い。今回の調査では、一冊に掲載された記事の数、語数などは、調査項目から外し、一冊を一つのデータとして扱ったため、年齢別、性別による使用の違いは把握することができなかった。しかし、抜け感が含むことばの様々なニュアンスや用法については現状を知ることはできたと思う。

4. 動詞「抜ける」と「抜け感」

杉村（2014）は、動詞「抜ける」の用法を 1）脱落、2）省略、3）穿孔、4）貫通、5）通り抜け、6）卓抜、7）突破、8）通過、9）離脱に細かく分類している。これらの代表的な例を挙げてみよう。

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 1) 脱落 | 口から歯が抜ける、エリート社員が抜ける、体から力が抜ける、ほか。 |
| 2) 省略 | 一日ぐらい風呂が抜けても死なない |
| 3) 穿孔 | 染料で下地が白く抜ける |
| 4) 貫通 | 矢が的を抜ける |
| 5) 通り抜け | トンネルが抜けている |
| 6) 卓抜 | 彼は社内で頭一つ抜けている |
| 7) 突破 | 騎馬隊が敵陣を抜ける |
| 8) 通過 | 人が裏道を抜ける |
| 9) 離脱 | 彼女は宴会から抜けた |

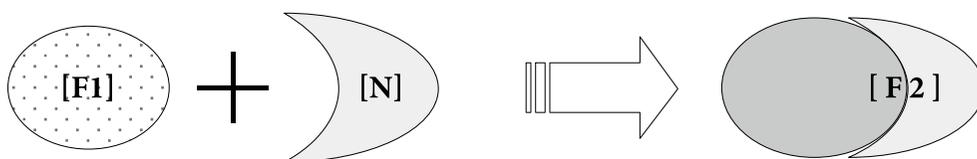
上のように、抜けるには様々な用法が存在するが、ファッション雑誌に使用される抜け感とは、1) の脱落の用法から起因したものであろう。杉浦が述べる脱落の用法の中の一つとして、「心身から気持ちや力や性質などが流出する」という用法に属する。これをファッション雑誌では、肩肘張らない、適当に力を抜いたようなスタイルのことをいい、ファッション全体から漂わせる雰囲気のことを「抜け感」と表現していると考えられる。

動詞「抜ける」のプロトタイプ（動詞の原型的意味）は、脱落・離脱の意味が中心義だと

判断される。だが、ファッション雑誌の抜け感とは、より完成したスタイルを創るために何らかのテクニックが必要であって、「力が抜ける」、「気が抜ける」、のような本来属しているものが抜けている状態を表すものではない。「抜ける」の本来の用法とはややズレがあるように思える。

鷲見（2007）は、「言語の意味は客観的な外界を直接反映したものではなく、私たち言語の使い手がそれを主観的にどのように捉えたかという認知的な作用も含む」と述べる。「抜け感」の用法は、ファッション雑誌においての捉え方は、描写する仕方も異なるのであろう。ファッション雑誌によく登場するモード感、高級感、存在感のようなことばと違って写真がなければなかなかその意味が読み取れない。なぜなら抜くのではなく、抜け感を足さなければいけないこと、何が抜け感になっているのか認識しなければいけないからであろう。ファッションと抜け感の関係を次の図2に示す。

図2 ファッションと「抜け感」の関係



F1: 抜け感がない未完成のファッション

F2: 抜け感を出した完成したファッション

N: 抜け感

5. 「抜け感」の使用の始まりと背景

次に、抜け感ということばがいつからファッション雑誌に表れたかを調べる。そのため、1970年代から2008年までの雑誌の書き言葉が登録されている国立国語研究所の書き言葉コーパス「中納言」⁶⁾を検索した。そこから「抜け感」と「ヌケ感」の両方を検索した結果、3件が抜き出された。その例を次に挙げる。

- フェミニンさを際立たせながらも、クロップド丈やカーディガンの肩かけで、全身に軽さとヌケ感を出して。 『Domani』2004年4月号
- カレザーは、どうしても重くなりがち。クールなデザインやシャープなフォルムでどこか抜け感のあるものを選んで、その存在感をさらに際立てて。 『Precious』2005年11月号
- 外は冷たい雨が降っているけれど取材に出かけねば! 「行ってきまーす」バッグや靴で抜け感を加味して。 『Domani』2005年10月号

国立国語研究所のデータを基に判断すると、かなり以前から女性のファッション雑誌に登場していることが分かる。念のため、国会議事堂図書館が所蔵している雑誌のなかから

2004年より以前に発行された2002年から2003年のものも調べたが⁷⁾、その表現が見当たらず、確認ができなかった。全種類の雑誌をすべて調べることはできなかったものの2004年から「抜け」、「崩す」、「こなれ感」のようなことばの表現が徐々に増えていることは確認できた。そして、雑誌ドマーニ2004年4月号には国立国語研究所のデータから検出された使用例に加え、次のようなキャプション文も見つけることができた。

○空気をはらんだような透け感のある素材が、シンプルなデザインにほどよい女らしさをプラス。甘すぎず、肩の力が抜けた着こなしに。

この表現も同じくドマーニ2004年4月号に表れたもので、抜け感と同じ意味で使われている。このような結果から判断すると、抜け感の始まりは2004年から本格的にファッション用語として使用され始めていたことが類推できる。

さらに、「抜け感」ということばが広がり、定着するようになった背景には、海外から伝わったファッション用語「ノームコア (normcore)」⁸⁾ や「エフォートレス (effortless)」ということばの取り入れも考えられる。特に「エフォートレス」は現在ファッション用語辞典の意味が抜け感とほぼ同じ意味合いを持って使われている。実際「エフォートレス」の意味を調べると、「努力を必要としない、無理のない、肩肘張らない『エフォートレスなファッション』」という説明がされている⁹⁾。このことばは2013年頃フランスのファッション雑誌「ELLE」が提唱したトレンドキーワードだが、これがファッション界に加わることで抜け感の使用がさらに広まっていると思われる。

「抜け感」が現在はファッション用語として違和感なく受け入れられることばになっているが、意外に約15年も前からファッション誌に出現していたことは興味深い。

6. 「抜け感」の韓国語訳について

最後に抜け感の意味合いが韓国語のファッション誌ではどのように表現されるのかを調べた。抜け感が醸し出すファッションの雰囲気と似たようなファッションが韓国の雑誌ではどう書かれているのかを調べることにする。そのため、似たようなファッションの写真が掲載されている写真を頼りに写真に付き添えられたキャプション文をその対象にした。参考にした資料は次の表7にまとめる。

表7 資料とした韓国の女性雑誌

雑誌名	発行年月日	読者年齢	発行会社
ウーマンセンス (women sense)	2018年7、8月号	20代後半～50代	ソウル文化社出版
女性東亜	2018年8月号	20代後半～50代	東亜日報社出版

入手した雑誌3冊から抜け感に近いムードのファッションのその解釈を調べると、以下のような表現が主に使われていることが分かった。

- 시원한 소재의 슈트에 화이트 티셔츠와 운동화를 더한 **믹스매치 룩**을 선보였다
(涼し気な素材のスーツにホワイト T シャツとスニーカーを加えミックスマッチスタイルを見せた 『女性東亜 7月号』)
- 화려한 화이트스커트에 메탈릭한 위상의 니트 민소매톱을 매치. 청록색 프레임의 선글라스와 가방을 포인트로 **믹스매치 룩**을 선보였다
(派手なホワイトスカートにメタリックなウォッシングなウォーシンのニット、袖なしのトップスをマッチ。緑色のフレームのサングラスとバックをポイントにミックスマッチルックを見せる 『女性東亜 8月号』)
- 큼지막한 폴로 셔츠에 보디라인이 고스란히 드러나는 펜슬 스커트를 선택하는 식으로 상하의에 **강약을 조절하면** 시크함이 살아난다
(大きめのポロシャツにボディーラインがそのままうつるペンシルスカートを選ぶ形で上下の**強弱を調節**するとシックな感覚が活かされる 『ウーマンセンス 8月号』)

用例から見られるようにスーツ에カジュアルな要素を加えたファッションの場合、믹스매치라는 표현을用いている。また、鮮やかなカラーを取り入れたアクセント的要素としての使用も믹스매치와 표현している。最後の文は上下にカジュアルな雰囲気と女性らしいスカートを合わせたファッションを説明しているが、ここでは強弱でバランスを取るという説明をしている。限られたデータであるが、ほかの記事にもこのような描写が最も多く믹스매치가抜け感に近接した表現であることがわかる。ほかには、「アクセントを加える」、「ユニークなスタイルを取り入れる」、「カジュアルなムードを加える」という表現が少数見られた。それから、日本と同じく英語の「エフォートレス」は韓国のファッション業界でも同様に使われており、雑誌にしばしば登場しているようだが、日本語の「抜け感」のような意味合いを持ったことばは韓国語には存在しないと考える。

7. まとめ

香川 (2012) は「服飾における『女性らしさ』は、常に抑圧的に提示されるとは限らない。例えば雑誌は、女性自身の好みを引き出しながら一定方向へと誘導する力を持つ。女性自身の心にうたえる巧みな言葉や画像を用いてモードを生み出し、女性たちは自ら服飾を選びとって身に着ける。」と述べている。今回の調査によれば、抜け感は 2004 年から使用頻度が上がり、書き手が提案するファッションのトレンドの一つとして定着するようになったが、これは以前の女性ファッションのトレンドだった「リッチ感」、「セクシー感」から飾り過ぎない自由なファッションスタイルへ変貌していく時代の流れも反映しているとも言えよう。

また、抜け感がファッション用語として仲間入りしたのは、ファッション雑誌でよく目にする「～っぽい」、「～感」、「～め」のような表現が受け入れられやすいことも起因していると思われる。これらの表現は前接する要素に特に制限がなく多様なことばと組み合わせられる

ためファッション雑誌というジャンルならではの表現をほかす文体も定着しやすくした要因として考えられる¹⁰⁾。

本稿では、「抜け感」の意味用法を雑誌の使用例から観察したが、今後はさらに調査の幅を広げ、インターネット上の使用状況を調査していきたい。

註

- 1) 大辞林第三版による引用
- 2) 漢字、片仮名の表記は記事のものをそのまま移したものである。
- 3) この解釈は、<http://www.fashion-press.net> からの引用。
- 4) 実用日本語表現辞典による引用。
- 5) 雑誌には売値に合うページ数やカラー項の割合などについての制約が存在する。若者向けは大人向けに比べ価格も安く設定されている傾向が見られる。しかし、付録などの場合は別途の価格が設定されることもあるようだが、安い若者雑誌であるため、総ページ数が少なくファッションの記事が少ないとは限らない。実際、今回調べてみると大人向けの雑誌でも総ページ数はかなり多いが、ファッションの記事より生活やレジャーなど生活日常の多様な分野を扱う内容に構成された大人の雑誌もあった。
- 6) 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)は、現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために構築したコーパスであり、現在、日本語について入手可能な唯一の均衡コーパスである。書籍全般、雑誌全般、新聞、白書、ブログ、ネット掲示板、教科書、法律などのジャンルにまたがって1億430万語のデータを格納しており、各ジャンルについて無作為にサンプルを抽出する。
- 7) 念のため、2004年以前の2002年2003年のドマニー、そして同時期の別の雑誌、「ストーリー(story)」、「ヴェリー(very)」も調べたが「抜け感」の出現は確認できず、代わりにコンサバ・カジュアルという表現が目立っていた。
- 8) アメリカの『ニューヨーク・マガジン』の記事が話題になり、流行に敏感なファッションブランドなどが、このことばを借りベーシックなスタイルを重視したデザインを発表したことによって一般に広まった。日本でも2014年からこのようなファッション潮流が広まってファッション用語の一つとして定着した。
- 9) ファッション用語辞典の解説によるものであり、デジタル大辞泉も同様の解釈をしている。
- 10) 「～感」という接尾辞は、「季節感」、「アウェー感」、「やらされ感」のように漢語、外来語、和語など様々な語の後ろに接続して使用されている。

参考文献

- 香川由紀子 (2012) 「モード雑誌の表現分析方法の可能性」東京女子大学紀要論集 62号、p.157～170
- 勝田耕起 (2011) 「20代女性向けファッション雑誌における言語の特徴—外来語の場合—」フェリス女学院大学文学部紀要 46号、p21～31、フェリス女学院大学文学部紀要委員会編
- 金田英里 (2014) 「接尾辞としての“一感”に前後する要素の拡大」姫路独協大学大学院『日本語教育論集』第23号
- 金田英里 (2015) 「名詞“感”の絶美辞化」姫路独協大学大学院『日本語教育論集』第24号
- 杉村泰 (2014) 「コーパスを利用した複合動詞“V1—抜く”と“V1—抜ける”の意味分析」言語文

- 化論集 35 卷 2 号、p.55～68、名古屋大学大学院国際言語文化研究科編
- 鷺見幸美（1999）「動詞「ぬく」の多義構造」名古屋大学日本語・日本文化論集 7 号、p.1～40
- 高橋郁子（2003）「接尾辞“め”の一考察—ファッション雑誌『non-no』を中心に」、福岡 YWCA
日本語教育論文集、論文集編集委員会著
- 仲川裕美（2015）「雑誌研究の方法と課題」『愛知淑徳大学現代社会研究科紀要』第 11 号、愛知淑徳
大学
- 津谷篤ほか（2015）「女性が愛読していくファッション誌の語彙変遷」ファジィシステムシンポジウ
ム講演論文集 31 号、p.429～434
- 三宅和子ほか（2005）『メディアとことば』ひつじ書房
- 森田吉行（1996）『意味分析の方法』ひつじ書房
- 国立国語研究所「KOTONOHA」『現代日本語書き言葉均衡コーパス』中納言」（<http://www.kotonoha.gr.jp>）
- 実用日本語表現辞典 <http://www.practical-japanese.com>
- 日本雑誌協会 <http://www.jmagazine.or.jp>
- ファッション雑誌ガイド Fashion Magazine <http://www.magazine-data.com>